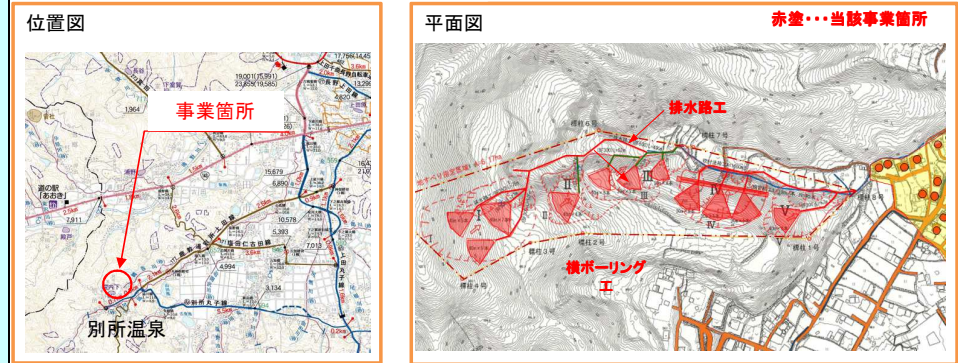


(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

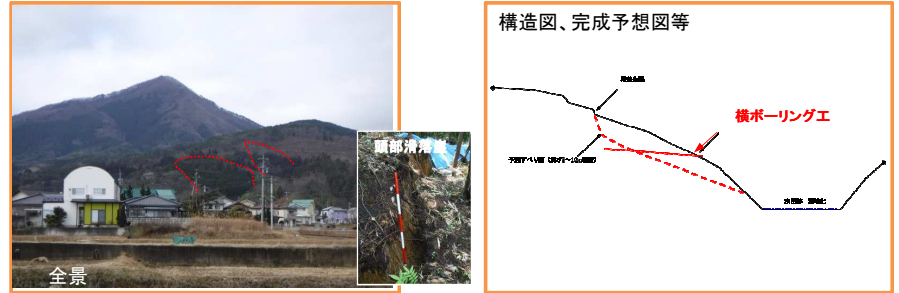
事業名		地すべり対策事業		路河川名等		(地)別所地区		
事業毎の通番		5		市町村名		上田市		
事業目的		別所地区は上田市別所温泉に位置し、平成29年5月9日に地すべりの発生が確認された。現地踏査を行ったところ、過去に動いたとみられる冠頭部の段差や中腹に湧水が数箇所確認される。地すべりの土塊が大規模に崩壊して河道を閉塞した場合、湛水し土石流の発生する可能性がある。7月の降雨により冠頭部の更なる動きが見られたこと、今後の降雨等により地すべりの滑動が活発化すると甚大な被害が想定されることから早急に対策を行う必要がある。		箇所名(ふりがな)		別所(べっしょ)		
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け		4-1 県土の強靱化(災害に強いインフラ整備)		事業実施の根拠法令等		地すべり等防止法		
関連する事業、計画等								
保全対象・範囲 受益対象・範囲		人家28戸、市道400m						
着手年度		平成30年度		事業期間		4年間		
完成年度(見込み)		平成33年度		費用対効果		1.0		
全体事業内容(主な工種)		横ボーリング L=4640m、水路工(開渠) L=500m 工事用道路工L=300m		事業費(千円)		300,000		
事業効果		直接的効果(定量的・定性的)		山腹の安定化 1.7億円 (応急土砂撤去費)				
事業効果		間接的効果(定量的・定性的)		地域に生活する人々の安全・安心な生活空間を確保し、常住人口の減少や減災が期待される。				
評価の視点	必要性	○保全人家戸数 : 28戸 ○保全する河川 : 一級河川 腰巻川					評価 B	
	重要性	○災害履歴 : なし					評価 B	
	効率性	○費用対効果(B/C) : 1.03 ○事業期間 : 4年間 ○代替案の検討 : 押え盛土計画について検討あり ○他事業との連携 : 他事業との連携はない					評価 B	
	緊急性	○地すべり滑動度 : 降雨時に軽微な動きがある。 ○下流の整備状況 : 既設砂防堰堤は満砂状態で、移動土塊が河川に流出すると大規模な湛水が発生する。					評価 B	
	計画熟度	○事業情報の共有 : 地元説明会(H29.7.25事業説明会を開催)及び地区の回覧版で関係者以外に周知 ○地域の取り組み : 協力的である ○地域の合意形成 : 合意形成が図られている ○住民との協働 : 住民参加型の事業(維持管理に住民参加が見込まれる)、地元住民が動きの観測を実施					評価 A	
所管課意見	平成29年4月の融雪、7月の前線豪雨、8月の台風において断続的に移動が確認され、滑りは活動状態であり危険な状況にあるため、早期の対策が必要である。				採択状況	総合評価 A		
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。							

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意ですが、見やすいもので)



【整備の必要性がわかる状況写真等】

(なぜ整備が必要か、どのような整備を計画しているか。コメントや図形を駆使して、一般県民に分かりやすいものとする)



①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	斜面全体に段差地があり、上流側に崩壊地と沢への押出跡があり、過去に地すべりを起こしてきた場所である。	
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成29年に5月にIVブロックで地すべりの変状が生じていることが確認されその後の降雨でも変状が生じている。	
③事業説明等の経緯	地元説明実施し、合意形成が図られている。 H29.7.25 事業説明会	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連		
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	地形をできるだけ改変せず、水位を下げるための水抜きボーリングを行い、対策を進める。	
⑥地域活性化への影響と配慮	地域に生活する人々の安全・安心な生活空間を確保し、常住人口の減少を防ぐ。	
⑦その他		
事業代表地点の緯度経度		北緯 : N 138° 09' 22.5" 東経 : E 36° 21' 16.1"